

国際関係論前期試験論題

問1 次の①～⑬に適切な語句を語群からえらび、「問1 解答欄」に記入しなさい。なお、おなじ番号の空欄にはおなじ語句がはいる。(2点×13)

語群 1940年体制、FTA、GATT、IMF、JICA、WTO、アジア通貨危機、アフリカの年、イラン、インド、ウェストミンスター法、ウォルト・ホイットマン・ロストウ、オイルショック、オタワ協定、カルボ条項、キューバ、クオンタム・ファンド、クオンタム・ファンド、クローニー、グローバリゼーション、ゲストワーカー、ケネス・N・ウォルツ、ジョージ・W・ブッシュ、スーパー301条、スーパー301条、スペイン、スミソニアン体制、スムート・ホーリー法、セオドア・ローズベルト、チャールズ・P・キンデルバーガー、チリ、ドーハ、ドル、ドル外交、ニクソン・ショック、ハイリゲンダム、バナナ共和国、バンコール、フェア・トレード、ブラジル、フランクリン・D・ローズベルト、フリードリヒ・フォン・ハイエク、プロレタリア化、ヘッジファンド、ベネズエラ、ヘルシンキ、ポルトガル、マイクロクレジット、マラケシュ協定、マンチェスター学派、モントリオール、ヨゼフ・アロイス・シュンペーター、ライブ・エイト、ライブ・エイド、リチャード・ローゼクランズ、ロシア、ロバート・O・コヘイン、ロンドン、ワグナー法、移民、移民ショッピング、円、解放の神学、開発独裁、外国為替準備、旧共産国、京都、共有地の悲劇、近隣窮乏化、苦力、経済連携協定、権威主義、構造調整融資、航海法、国際開発協会、国際金融公社、国際清算同盟、国際復興開発銀行、国民学派、国連開発の十年、国連憲章、穀物法、持続可能な開発、自動調節、自由貿易帝国主義、失われた十年、従属論、重債務貧困国、商品価格、新国際経済秩序、新秩序、人身売買、世界帝国、成長の限界、戦債、戦争機構、大西洋憲章、大陸封鎖、短期資金、地域主義、中核、中国、町人国家、調整可能な釘付け、通貨スワップ協定、奴隷、覇権安定論、排日移民法、賠償、不満足諸国、福祉国家、米国、辺境、母をたずねて三千里、北米自由貿易協定、満足諸国、利子平衡税、累積債務

問2 下の資料の意味するところを授業の内容に即して解説しなさい。(12点×1)

問3 第二次世界大戦後、米国は国際収支の赤字を拡大させないため、いかなる対策をとったか論じなさい。(12点×1)

注意

- ・オリジナリティに疑問がある答案(他人のものと酷似した文をふくむ答案)はすべて0点とする
- ・筆記用具以外いかなるものもちこみも認めない(携帯電話も)。